

引き出す対話スキル プログラム

■ 研修の背景

研修をしていると、「伝える」ことはできても「問いかける」ことが苦手な人がどうも多いようです。実は、何かを一方向的に伝えることよりも、「問いかけ」を織り交ぜることにより、相手の思考を刺激し、話題に意識を向け、考える姿勢をつくります。「問いかけ」は、必要な情報を相手から引き出すこともさることながら、気づきや行動も引き出すことが可能になります。

「問いかけ」の活用範囲は、コーチング、ファシリテーション、プレゼンテーション、営業、などコミュニケーションのあらゆる場面で活用できます。

■ 研修のねらい

1. 対話における「問いかけ」の効果を理解する
2. 多彩な「問いかけ」の言葉を繰り返し扱い「問いかけ」に慣れ、レパートリーを増やす
3. 「問いかけ」と「承認」を活用した対話のパターンを体験から学ぶ
4. 場面を想定した「問いかけ」引き出す対話を体験から学ぶ

■ 研修プログラム（サンプル）

時間	プログラム	備考
9:00	<ul style="list-style-type: none">■オリエンテーション<ul style="list-style-type: none">・研修のねらい ・進め方・自己紹介■「問いかけ」の活用効果<ul style="list-style-type: none">・「問いかけ」とは・「問いかけ」の活用場面と効果■話しやすい対話の姿勢をつくる<ul style="list-style-type: none">・「承認」カードを使った（実習）	小講義 あらゆるパターンの問いかけ、承認をカードを使って実習する
12:00	昼食	
13:00	<ul style="list-style-type: none">■「問いかけ」に慣れる<ul style="list-style-type: none">・「問いかけ」カードを使った（実習）・「問いかけ」「承認」カードを使った（実習）■「問いかけ」「承認」を使った対話のパターン<ul style="list-style-type: none">・相手が困っている状態を引き出す（実習）・相手の行動の意図を引き出す（実習）・相手の意思を引き出す（実習）・相手の将来の行動を引き出す（実習）■「問いかけ」の総合実習<ul style="list-style-type: none">・相手の「困っていること」がテーマ・3人1組のロールプレイ（聴き手、話し手、観察者）・振り返り■まとめ（1日の振り返り）	予め問いかけと承認のパターンに沿ったストーリーを用意してロールプレイに取り組む これまで、学んだ問いかけと承認のパターンをフリーハンドで取り組む
17:00	終了	

※研修の進行、受講者の状態により、一部変更する場合がございますので、予めご了承ください。